



発行
社会福祉法人 牧ノ原やまばと学園
〒421-0412 静岡県 牧之原市
坂部 2151 番地 2
TEL:0548-29-0221 FAX:0548-29-0157
E-mail:honbu@yamabatogakuen.jp
http://www.yamabatogakuen.jp/

機関誌代は無料です。

みんなが幸せになる場

(一)

「パリ二〇二四夏季オリンピック競技大会」がまもなく(七月二十四日から)開催される予定で、何かにつけ、それに関連した話題が、メディアを賑わしています。

今回の開会式パレードは、選手たちがボートに乗ってセーヌ川沿いに進むという独創的な内容。

このため観客はパレードの一部を無料で見られるとのこと。日本のオリンピックは終了後、多額賄賂事件が発覚し五輪のイメージダウンになりましたが、今回はそういうことがないよう願うことです。

パラリンピックの選手も含めて、参加するアスリートたちは誰もが「金メダルを必ず取ってくる」と決意表明することが多く、並々な



らぬ意欲や責任感を感じる一方で、「気負わないで、がんばれ」と言いたくもなりません。雨の日も風の日も黙々と練習を積み、自分に打ち克つて努力してきた人々だからこそ厳しい予選を勝ち抜き、オリンピックに参加できたのでしょう。

(二)
ところで、私たちが日ごろ相手にしている知的障碍の人たちは、競争とは無縁の人と違ってよく、障碍が重い人ほど、「競う」といった意識は全くありません。例えば「運動会」。職員と手をつなぎ、ヨーイドンで走り出すと、職員は必死になって走りますが、ご当人は立ち止まったり、別の所へゆっくり向かったりして、なかなか願うようにはいきません。

中、障碍を持つ人とペアになって走ったりすると、たぶん力づくで相手をつ引き張りそうなのですが、それだからこそ自戒の念も込め、良い職員とは、自分の思いに相手を従わせる人ではなく、相手の気持ちを受け入れ、そのペースに自分を合わせる事ができる人だということを感じたく思います。

(三)

熾烈な競争の結果、優勝する人、ビリに終わる人、明暗が分かれませんが、どの選手に対しても、これまでの努力に対し、惜しめない拍手をおくりたく思います。

勝者は、もちろん一着

のペアですが、無理に引つ張られて走りこんだ

ペアよりも、ゆったりゴールインしたペアのほうが好感が持て、本当の勝者という印象を受けたのは、私一人ではなかったでしょう。(かくいう私自身は、皆が注目す

今、私の前には、一九八二年四月頃写した成人寮寮生十一名の写真があります。この一ヶ月位前には長沢巖の姉、みぎわさん(私にとっては義姉)が急逝したため写真には入っていませんが、みぎわさんを含め十二名の寮生さんたちは、言葉は少ないけれども意思疎通ができる方たちで、成人寮の中心的存在でした。私もしばしば交流したので思い出が多くあり、写真を見るとすぐ名前が出てきます。

(右から) 町さん、修子さん、

池谷さん、森田さん、和子さん、町子さん、和恵さん、清さん、大鐘さん、山岸さん、初江さん、と。

その後四十二年の歳月が流れ、その間(順不同ですが)、池谷さん、森田さん、和恵さん、大鐘さん、

山岸さん、初江さんが逝去。そして、本年六月末には横田和子さんが召されたのでした。和子さんは元気な頃は私を見るたびに、「長沢先生、死んじゃったね。ハー死んじゃった。カコのお母さんも死んじゃった」というのが常で、私も、「みんな死んじゃうね。神様の所へ帰るのね」と言ったものでした。

特養ホームへ移ってからは訪ねることも少なくなり、コロナ禍でますます面会に行かなくなり、晩年の彼女の気持を知りこともなく終わつたのは申し訳ないことです。

(四)

四十二年前の「やまばと」機関紙には、成人寮の女性たち五名が亡きみぎわさんを偲んで語った言葉が記載されていて、興味深い内容なので引用してみましよう。

(ある日の作業中の会話／女性職員不在で入った大原佳春氏が記)

初江「みぎわちゃん死んじゃったね」

和子「うん、死んじゃった」

初江「一緒に作業したね」

和子「ウン」

初江「わチシ、みぎわちゃん好きだよ」

和子「カコちゃんも」

初江「みぎわちゃん、どこに行つたかね！」

和子「……………」

修子「死んじゃった、ハー死んじゃつたから、いない！」

初江「……………」

和恵「天国に行っちゃった」

修子「天国じゃない、死んじゃつたの」

和恵「死んじゃつたのじゃない、天国にいつちやつたの」

初江「そっだよ」

修子「……………」

職員「天国つて、どこ？」

和恵「イエスさまのどこ」

初江「そっだよ」

職員「何してるかな？」

和恵「……………」

職員「作業してるかなあ」

和恵「作業だつて。ウフフ」

初江「みぎわちゃんに会いたいなあ」

修子「死んじゃつたから会えませんが」

町子「そんなこと言うもんじゃない」

修子「……………」

しばらく、重苦しい沈黙。突然、

和恵「お祈りすりゃあいいじゃん」

一同沈黙

職員「和恵さん、お祈りしてるの？」

和恵「うん」

職員「どんなお祈り？」

和恵「ウフフ」

初江「わチシもお祈りするよ」

職員「どんな？」

初江「アーメンつて」

職員「そう、えらいね」

初江「うん、初ちゃん、えらいもん」

和恵「みんなのこと、お祈りしてよ」

一同、感心するように和恵さんを見る。

和恵「ウフフ」

(五)

「死んじゃつたから、みぎわちゃんはいません。会えませんが」と断言する修子さんと、「死んじゃつたのじゃない、天国にいつちやつたの」という神様を信じる和恵さんの「と、何かにつけ和恵さんに相鈍(あいづち)を討つ初江さんと、虚無的・現実的な修子さんをたしなめる町子さんなど、いかにも私たちの周りにも同様のタイプの人がいそう、笑ってしまいます。

今は四人とも神様のもとへ帰り、町子さんだけが健在。旅立った人たちはどうしているかなあ、会いたいなあ、と思わされます。

(六)

近年、私は管理的な業務に従事

する日々で、ご利用者と接するこ

とは少なくなっています。また、

ここで紹介したようなご利用者は

今の入所施設(障害者支援施設)

ではあまり見かけず、就労継続支

援B型事業所の通所生に近いのか

もしれません。(当法人の入所施設

には、強度行動障害や重複障害の

人等、障害の重い人の割合が増加)。

一方、B型事業所では、作業中

は黙々と働くことが求められ、お

しゃべりはご法度になっています

ので、リラックスしたり笑つたり

する時間は十分なのかしらんと案

じられます。しかし国の施策がそ

ういう方向なので、それに従いつ

つ工夫するしかないでしょう。

いずれにしても、私たちは、ご

利用者も職員も笑顔になり、幸せ

になることを目指していますので、

この目標を忘れず、歩んでいきたく

思います。私自身は、「私があな

た方を愛したように互いに愛し合

いなさい」というイエス様のこと

ばが浸透するところに、喜びはあ

ふれてくると思います、そういう場

なっていくよう祈っています。

〈理事長〉長沢道子

一以貫之

矢野 弘典

これは、私の大好きな言葉です。2500年前に、『論語』の中で孔子が語りました。「いつもつてこれをつらぬく」と読みます。

孔子は古代中国の哲学者・教育者・政治家で、同時代のギリシャのソクラテス、インドの釈迦と並び、500年後に生まれたキリストを加えて、四大聖人と称えられ、「人はいかに生きるべきか」について、今日に至るまで世界に大きな影響を与えてきました。

孔子は、何を語りたかったのか。『論語』には、次の一節があります。子曰く、参よ、吾が道は一以てこれを貫く。曾子曰く、唯。子出ず。門人問うて曰く、何の謂いぞや。曾子曰く、夫子の道は忠恕のみ。

参とは、孔子門の後を継いだ弟子、若い曾子の名前です。教室で先生は弟子たちに「私の生涯は、一つのことを貫いてきた」と述べたところ、曾子は「はい」と答えました。私の想像ですが、多分ニコリと笑みを浮かべて。門人たち

は意味が分からないので、先生が出ていった後で、「どういう意味か」と曾子に問います。曾子は「先生の道は忠恕のみ」と答えました。忠はまごころ、恕はおもいやりです。

孔子の心が伝わる素晴らしい問答ですが、私は50年ほど前、まだ30歳代前半でしたが、この言葉を味わいながら次のように考えました。「人はこの世に生を受けたからには、誰しもその人でなければならぬ大事な役割や使命があるはずだ。それをいつも肚において、私も及ばずながら自分の人生を全うしよう」と。具体的には、目の前にある自分の仕事を通じて、家族や世の人々のために少しでも役に立とうと心秘かに誓いました。その後、最初の電機会社は三十七年間勤めて卒業し、ご縁があつて経済団体や高速道路会社、NPOやNGOなどの諸団体で仕事に携わるようになりましたが、最初の思いは今も変わつてはおりません。人生は、飾らず地のままで行くしかないと思つています。そ

ういう積もりでおりますと、世には素晴らしい言葉が沢山あることに気付きます。私は短歌や俳句は作れませんが、詩は好んで読んでいます。詩人たちは、事柄の本質を驚くほど短い言葉で表現します。例を挙げて見ます。

北原白秋の詩に、「薔薇ノ木ニ薔薇ノ花サク。ナニゴトノ不思議ナケレド。」とあります。当たり前でそのままだが一番美しく尊いのです。松尾芭蕉には、「よく見ればナズナ花咲く垣根かな」という句があります。名もない雑草ですが、誰が見ていようといまいと、時が来れば垣根の隅で、懸命に花を咲かせているのです。感動を覚ええます。武者小路実篤は、「桃栗三年柿」と言いました。達磨さんは面壁九年を経て悟りを開いたが、自分は一生かかるというのです。凡人には励みになる言葉です。

西洋でも、ブラウニングの詩「春の朝」に、上田敏の名訳があります。「時は春、日は朝、朝は七時、片岡に露みちて、揚雲雀なのりいで、蝸牛枝に這ひ、神、そらに知らしめす。すべて世は事も無し。」と。

世の中は平穏な時ばかりではなく、争いが絶えず、変化に充ちて

います。その中で揺れない自分を確立するにはどうすれば良いか、これが永年の私の命題でした。そこで、拠り所を求めたのが『論語』でした。そして、この素晴らしい古典を若い世代にも伝えたいと考え、開設したのが「お爺ちゃんの論語塾」です。フルタイムの仕事を終えた二〇一〇年のことです。孫の世代を対象に自宅を開放し、月二回続けて三〇〇回を超えました。ここで私は、大きな発見をしました。教室では素読し、暗誦するだけで、解釈はほとんどしないのですが、子供たちの生活態度が変わるので、落ち着きの無い小学1年生の子供が、玄関で靴をきちんと並べ、「お早うございます」と元気に挨拶し、時間中も静かに席に座れるようになったのです。これは古典のもつ偉大な感化力に他なりません。第一期生は、今年大学を卒業しました。大人になって色々な課題に直面した時に、子供の時に覚えた言葉が蘇つて、支えになってくれれば良い、というのがお爺ちゃん先生の切なる願いです。

4月20日開催の「新年度研修」への感想

ぶどうの木 鈴木ひろみ／菅根よし野

テーマは、今回も「誰もが生き生きと喜びを持って働くために」。基調講演講師は、熊本県知事や社会事業大学学長などを歴任され、現在は社会福祉法人「慈愛園」相談役の潮谷義子先生。「福祉の道を歩む人へ」と題するお話でした。

先生は「専門性を深めることの大切さ」を伝えると同時に、「専門的知識を得た者は、その枠にはめ込んだ見方をしないように」とも言われ、心に残りました。

また、市町村と施設がコミュニティケーションをとることや、政治や社会保障の変化を学ぶことの大切さも指摘され、地域福祉を担う私たちにとっては参考になりました。

「すべての人は平等、命をもつて生きている、障害を持っていてる人たちは、これから生きていく私たちの姿なのだ」とおっしゃる潮谷先生の姿はさわやかで、その言葉に共感すると同時に、私たちは



いろいろな人たちの中に生かされていくんだと、改めて実感しました。潮谷先生が大事にしていること「優

しいほほえみ」「優しいまなざし」「優しいことば」を、私たちも日頃から心がけたいと思います。



三つの発

表では、事業所をこえて交流する障害部門のフレッシュマン研修が紹介され、楽しそうでした。A型事業所「カサブランカ」は、法人職員でもあるご利用者たちがリモートで初めて参加。皆さん無口で、やや緊張していましたが、日頃の思いが分かりました。暑い夏も寒い冬も、ペットボトルなどのリサイクル中間処理に励む様子がビデオで伝えられ、改めて、「体に気をつけて頑張ってください」とエールを送りたくなりました。

高齢部門の「サロン活動への支援」では、その報告も面白かったのですが、終了後、そのとき提供している「遊びりテーション」を、全員ですることになり、潮谷先生も加わってくださり、大いに盛り上がりました。

先輩の「福祉への思い」を知り、私たちの「ミッションと仲間」を知り、元気づけられ励まされる一日となりました。

(施設長／主任)

手打ちそばの会に参加して

かたくりの花 名和 望

四月二十六日、今年も金谷そばの会の皆さんの御協力により、手打ちそばの実演を目の前で見て、触れて、食べる体験、「手打ちそばの会」を行いました。

サラサラの粉からつやつやに丸まっていくなりに手を伸ばし、顔を近づけ、目耳鼻で感覚を楽しみ、職人さんにも興味深々なNさん。

職人さんの軽快なトークで笑い絶えず、あつという間にそば切りの段階まで進むと、真っ先に私が切りたいと手を挙げアピール全開のーさんは、目がキラキラと輝いていました。静かに順番を待っていたMさんや他の方たちも、願いがかなって体験させていただき



ました。皆さんドキドキも嬉しそうでした。そして、今年



みなのですが、経営栄養で食事を摂っているSさんも、お母様の協力のもと皆さんと同じ空間でお蕎麦を味わうことが出来ました。Sさんの笑顔にお母様やご利用者達、そして職員皆が喜びのひと時を過ごすことが出来ました。いつもは小食のKさんも美味しくそうに山菜蕎麦をモリモリ食べ、出来立てのお蕎麦に舌鼓を打っていました。

食べ終わり最後の「お礼の会」では、名人の職人さん達から「また来年も来ていいですか?」と言って頂き、金谷そばの会の皆様に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

来年の期待を込めて、「はーい、来年も来てね」と答え、手を振るご利用者の姿に、人と人との繋がりを学びました。

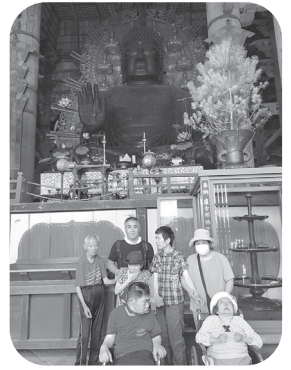
(生活支援員)

一泊旅行

やまばと希望寮 大池 由季子

6月3・4日と関西方面へ旅行しました。長くこの仕事をしてい
ますが一泊旅行は初めてです。楽
しみな反面心配もありました。

一日目はユニバーサルスタジオ
ジョーズを退治したり、空中を飛
んだり、シヨーを見たりしました。
宿泊先は障害を持った方でも快
適に過ごせる場所。機械浴があつ
たり介護ベットもありました。ご
利用者者と大浴場でゆっくりお風呂
に入り、明日に備え寝ましようね
と伝えましたが、場所が違うため
か嬉しいのか、ご利用者は寝るこ
となく過ごしていました。
二日目は奈良公園を散策。鹿が
たくさん近寄ってきて、びっくり
してあっちへいけと必死に手を振
るご利用者もいれば、平気なご利
用者もいました。



昼食はおしゃれなカフェに行き
ました。偏食がありいつもは食べ
ない物もおいしそうに食べている
姿を見てびっくりしました。美味
しいものを食べ、いつもと違った
非日常的な雰囲気を感じ楽しんで
いたと思います。素敵な笑顔も
たくさん見られました。

二日間天気よく素晴らしい時間
をご利用者と共有できたことがと
てもうれしかったです。
ご利用者の高齢化・介助度アツ
プなど、いろいろなことに躊躇
する様になっていましたが、思
い切って一泊旅行を行いました。
ご家族に連絡すると、とても喜ん
でいただきました。

次はどこどこへご利用者を連れ
ていこうという話が職員から出て
います。これからも素敵な時間を
たくさん共有できたらと思います。

(主任サービス管理責任者)

日本の介護福祉士に挑戦

聖ルカホーム 趙 亨濟



韓国人の私にとって
静岡県は第
2の故郷で
す。大学の
時にボラン
ティアで行ったある児童養護施設
の子ども達から日本語を教わった
のも、就職したのも、妻に出会っ
たのも静岡でした。

結婚後韓国で生活してきた私は、
子どもの成長と共に再度静岡に
戻って来ることにしました。

韓国の社会福祉士の資格はあつ
たのですが、日本では通用せず、
就職先を探していた私は、無資格
でも働くことができ、働きながら
資格取得を支援してくれる聖ルカ
ホームに出会いました。高齢者施
設の経験がなかったのが不安でし
たが、職場の同僚に恵まれ、ご利
用者にも励まされ、あつという間
に3年が過ぎました。

ある日、職場から実務者研修を
すすめられました。ハローワーク
からは補助金をもらうこともでき
ました。しかし、夜勤ありの交代
勤務の中、休みはほとんど研修授

業や宿題に取られ、体力的にも精
神的にも大変疲れました。家族や
同僚からの温かい一言が大きな力
になりました。

無事に実務者研修を修了した私
は介護福祉士国家試験にも挑戦す
ることにしました。仕事をしなが
ら勉強するのはやはり大変でし
た。足りない勉強時間を補うため
解らないところや重要なところは
ケータイで写真を撮っていつでも
どこでも繰り返し見ることが出来
るようになりました。法律や制度な
どは特に難しかったです。

いよいよ試験当日、試験会場の
ツインメッセ静岡には受験者2千
人以上が集まりました。午前から
始まった試験は、午後3時半過ぎ
にやっと終わりました。結果発表
までの2ヶ月はとても長く感じま
しましたが、無事合格することができ
ました。8割以上の合格率で運も
良かったとほっとしています。

介護福祉士の登録証を受け取り、
その重さを改めて実感していま
す。これからもご利用者に寄り添
い、安全で安心して過ごすことが
できるように、今まで学んできた
ことを活かして、仲間と一緒に力
を合わせていきたいと思っています。
す。

(介護員)

2023(令和5)年度 牧ノ原やまばと学園 事業概要と決算報告

2023年度も皆様のご支援やお祈りに支えられ活動を終了できましたことを感謝申し上げます。

2024年3月末時点で、牧ノ原やまばと学園には、31の事業所(高齢者福祉関係は10、障がい者福祉関係は19、他に本部及び診療所)があり、職員数は、パート職員を含め、約470人となっています。

さて、2023年度決算は、事業活動計算書によれば、主たる福祉活動の収益は21億7,100万円、出費は21億6,400万円で、サービス活動増減差額は、約714万円でした。かつて収支差額は1億円余ありましたが、建物新築(聖ルカ、真菜、花もも)に伴う減価償却費増により収支差額が激減。この状況はしばらく続きそうです。

当期活動増減差額は、前年比約1,500万円増でした。高齢者部門も障害者部門も、株式会社やNPO法人の参入により事業所の数が増えたため、新しく利用する人は少なくなっています。

障害者部門では、グループホーム「みぎわ」に付設していた青葉棟を、建物の老朽化等もあって閉鎖することになり、次年度から、定員は15名から10名になります。

高齢者部門では、二期10年務めた、島田市立養護老人ホーム「ぎんもくせい」の指定管理業務を、2023年度末をもって終了することになりました。

事業規模がやや縮小する1年となりましたが、今後もサービスの質の向上に努め、ニーズのあるところに応えていきたいと願っています。

寄付金収支内訳

2023年度も多くの皆様よりご支援を賜りましたことを心から感謝申し上げます。

(単位:円)

収入内訳	一般会計	
	科目	金額
本部取扱い分	寄付金	9,174,686
	誌代 ※	0
	小計	9,174,686
事業所取扱い分		2,110,073
合計		11,284,759
支出内訳		
機関紙代		0
奨学金及び旧施設解体等費用として本部残高に繰入		9,174,686
寄付金受入れ事業所運営費用		2,110,073
合計		11,284,759

※2022年度からは「機関紙やまばと」の誌代はゼロ円となりました。

牧ノ原やまばと学園貸借対照表

(2024年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	当年度末	科目	当年度末
流動資産	1,163,477,060	流動負債	257,528,545
固定資産	3,450,523,210	固定負債	550,098,264
基本財産	2,140,542,968	負債の部合計	807,626,809
その他の固定資産	1,309,980,242	純資産の部	
		基本金	542,667,132
		国庫補助金等特別積立金	544,996,636
		その他の積立金	955,514,000
		次期繰越活動増減差額	1,763,195,693
		純資産の部合計	3,806,373,461
資産の部合計	4,614,000,270	負債及び純資産の部合計	4,614,000,270

助成に関して

助成金をいただき、以下のものを購入しました。感謝して報告いたします。

(単位:円)

助成団体名	事業所名	物品名	助成金
NHK 歳末たすけあい助成金(静岡県共同募金会)	養護老人ホーム相寿園	クリスマス会経費、新年会経費	155,000
NHK 歳末たすけあい助成金(静岡県共同募金会)	養護老人ホームぎんもくせい	クリスマス会経費、新年会経費	178,000
福祉施設機器整備事業(静岡県共同募金会)	ワークセンター希望の家	送迎車輛	1,275,000
敬老会実施事業費助成金(烏田市)	養護老人ホームぎんもくせい	敬老会費用	32,000

牧ノ原やまばと学園資金収支計算書

(自 2023 年 4 月 1 日 至 2024 年 3 月 31 日)

(単位：円)

牧ノ原やまばと学園事業活動計算書

(自 2023 年 4 月 1 日 至 2024 年 3 月 31 日)

(単位：円)

		勘定科目	決算
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	781,835,233
		老人福祉事業収入	237,519,896
		就労支援事業収入	50,549,691
		障害福祉サービス等事業収入	1,073,627,029
		医療事業収入	4,478,897
		その他の事業収入	10,208,188
		経常経費寄附金収入	11,284,759
		受取利息配当金収入	65,473
		その他の収入	21,476,319
		事業活動収入計(1)	2,191,045,485
	支出	人件費支出	1,433,960,738
		事業費支出	302,031,886
		事務費支出	234,629,470
		就労支援事業支出	52,085,797
		利用者負担軽減額	1,862,681
		支払利息支出	3,030,264
		その他の支出	3,010,467
事業活動支出計(2)		2,030,611,303	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		160,434,182	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	7,142,000
		固定資産売却収入	215,540
		施設整備等収入計(4)	7,357,540
	支出	設備資金借入金元金償還支出	21,371,009
		固定資産取得支出	34,367,576
		固定資産除却・廃棄支出	90,640
		ファイナンス・リース債務の返済支出	4,519,588
		その他の施設整備等による支出	0
施設整備等支出計(5)	60,348,813		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 52,991,273	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	13,357,906
		その他の活動収入計(7)	13,357,906
	支出	積立資産支出	62,899,140
		その他の活動支出計(8)	62,899,140
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△ 49,541,234	
予備費支出(10)		0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		57,901,675	
前期末支払資金残高(12)		944,450,674	
当期末支払資金残高(11)+(12)		1,002,352,349	

		勘定科目	決算
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	781,835,233
		老人福祉事業収益	237,519,896
		就労支援事業収益	50,549,691
		障害福祉サービス等事業収益	1,073,627,029
		医療事業収益	4,478,897
		その他の事業収益	10,208,188
		経常経費寄附金収益	11,284,759
		その他の収益	1,788,818
		サービス活動収益計(1)	2,171,292,511
		費用	人件費
	事業費		305,088,696
	事務費		234,754,511
	就労支援事業費用		52,442,392
	利用者負担軽減額		1,862,681
	減価償却費		180,142,819
	国庫補助金等特別積立金取崩額		△ 53,829,655
	サービス活動費用計(2)		2,164,152,704
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		7,139,807	
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	65,473
		その他のサービス活動外収益	19,687,501
	サービス活動外収益計(4)	19,752,974	
費用	支払利息	3,030,264	
	その他のサービス活動外費用	3,026,367	
	サービス活動外費用計(5)	6,056,631	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		13,696,343	
経常増減差額(7)=(3)+(6)		20,836,150	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	7,142,000
		施設整備等寄附金収益	0
		固定資産受贈額	500,000
		固定資産売却益	215,536
	その他の特別収益	396,334	
	特別収益計(8)	8,253,870	
	費用	固定資産売却損・処分損	90,651
		国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	0
国庫補助金等特別積立金積立額		7,142,000	
その他の特別損失		263,375	
特別費用計(9)	7,496,026		
特別増減差額(10)=(8)-(9)		757,844	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		21,593,994	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	1,783,351,699	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	1,804,945,693	
	基本金取崩額(14)	0	
	その他の積立金取崩額(15)	5,150,000	
	その他の積立金積立額(16)	46,900,000	
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	1,763,195,693	

歩みのあと

(5月1日〜6月30日)

●全体的なこと

5/13〜17決算ヒアリング。
5/22〜23三年度下半期の事故防止委員会。

●個別のニュース

(法人)5/23長澤理事長、聖隷学園評議員会出席。5/25〜26三年度第1回理事会。
主な議案は、1〇三年度事業報告、決算。6/3長澤理事長、日キ社事同盟理事会に出席。
6/8相良高校文化祭へ出席。
6/15〜20三年度定時評議員会。主な議案は、1〇三年度決算、評議員会に出席。
6/30相良教会、新人職員歓迎礼拝。教会は初めての職員もキリスト教に対する壁が少し低くなったと感想。

(垂穂寮)5/8風棟トイレ改修工事開始。7月完成予定。
5/11保護者総会と奉仕作業。
5/18静岡福祉大教授3名、ゼミ生7名が施設見学。若手職員と意見交換し親睦。6/14救急法研修。6/29「知的障がい児者のくらしを知るセミナー」、垂穂寮希望寮と圏域の入所3施設や行政福祉大等が協力して静岡福祉大で開催。学生等に魅力を伝える。

(野ばら)5/7リフレクソロジー。
5/16絵画教室。5/28音楽に合わせてレクダンスを楽しむ。
6/6・10エンジョイプラン。6/27動物ふれあい訪問。
(みぎわ)5/11昼食に防災食、非常時の食事を体験。5/19水消火器を使って消火訓練。5/31家族等の会。意見交換や情報共有。

(やまばと希望寮)5/17浜松花博などへケース外出。ご家族も参加し「楽しい一日」。5/29大橋先生の音楽教室。5/30運動会。玉入れやお菓子取など盛り上がる。6/3〜4関西方面へ宿泊旅行。6/29「知的障がい児者の暮らしを知るセミナー」参加。(上述)

(生活支援センター)5/7牧之原市自立支援協議会など、島田市、吉田町含めた地域の地域の協議に参加。6/1村田千恵が相談員として転入。
(わかば)5/3静岡市あさはた緑地公園へピクニック。5/12わかば単独で吉田港海岸清掃。
6/16パンフデザインづくり。
(もくれん)5/4お茶摘み体験。摘んだ茶葉はてんぷらにして美味しかった。

(花もも)5/28やまばとパン販売。真菜のご利用者も緒に好みのパンを選ぶ。6/8相良高校文化祭への出店。
(かたくりの花)5/18藤田農園様でいちご摘み。ジャムも作りお世話になつている方々に届けた。
6/18「あい愛サロンの会」、頂いとお芋や玉ねぎやみそで豚汁やサラダを作つてパーティ。
(マーガレット)5/11感謝の日、感謝の言葉を書き添え、木製のキーホルダーを制作。6/18ドンキホーテで買物体験。
(カサブランカ)5/26阿知ヶ谷東光寺地区ふれあい広場に参加。やまばとの焼き菓子を販売大好評。6/13、17法人内のさくらあさがお見学作業体験。
(クモス)5/31ご利用者1名の40年勤続表彰式。6/14島田第二地区民生児童委員との交流会。6/25個別体験学習で2名の方が日本平動物園へ。
(なののはな)5/16職員が救命講習を受講。6/14各々が献立を作りレップ形式で昼食。
(希望の家)5/13ご利用者と清掃気持ちよくお客様を迎える。

5/15家族に感謝の日。6/14歯磨き指導。6/27初のモルック大会。ルールをアレンジ、道具は職員の手作り。
(ふれあい)5/10母の日にちなみ家族に感謝メッセージとお菓子をプレゼント。6/20交通安全教室。

(あさがお)5/9青野先生体操教室。5/10「地域飲食店巡り」で地元店舗で昼食。5/11保護者連絡会。5/31契約終了の利用者と異動職員の歡送迎会。6/1河原崎明人がサビ管として就任。6/11塚本先生笑いヨガ。6/27初倉地区民生児童委員との交流会。

(Wocやまばと)5/24富士山静岡空港へ。飛行機の離発着に心が躍る。6/8相良高校文化祭へ出店。完売。6/10施設の庭にピンクと赤のペチュニアの植栽。
(さくら)5/29ホールにて室内スポーツ、日頃の運動不足解消とリフレッシュ。6/20特別支援学校実習生を交えミニ運動会。パン食、競争等。

(レタスクラブ)6/26ランチつくり。茹で鳥の香味ソースがけ他。5月に植えた野菜が成長し始め、ランチや味噌汁に役立っている。
(聖ルカホーム)5/1聖ルカ創立43周年。5/17職員はお茶畑に扮して新茶と茶菓子を提供。囀託医も来店。6/24ボランティアによる習字会。納涼祭に向けた作品を仕上げる。

(グレイス)5/29たい焼きと新茶をいただきます。中庭を愛でる。6/9ミナミ掛け。ホール事務所など。6/14ふれあいサロンで地域の高齢者と交流。6/18紙粘土でアジサイを創作し、同じ色のゼリーを頂く。6/26買い物ツアー。

(相寿園)5/10輪投げ大会。5/15笑いヨガ。笑ってストレス発散。5/29お楽しみクラブ。装飾作

成。6/5うおとも様招待の食事会。他の近隣施設とも楽しいひと時。6/20笑いヨガ。6/26習字クラブ。
(真菜)5/17聖ルカに招かれ「新茶を楽しむ会」へ。5/18平井農園へ収穫のお手伝い。5/20、21静岡空港へ。6/11手作り昼食。6/28花ももの運動会に参加。工夫を凝らした競技や心のこもった参加賞もいただき、感謝！感謝！
(すずらん)5/7お茶会。ご利用者にて作法を教えるもったり「結構なお手前」で声掛けも。5/18恒例の夏野菜植付。収穫後の食事作りが楽しみ。6/11、12紙ねんどや折紙等で紫陽花を作る。6/14坂部ふれあいサロンで遊びリレーション。6/26、27運動会開催。靴飛ばしや玉入れ等、グレイスのご利用者とも交流。

(さくら)今年度の法改正で訪問介護の報酬単価が減少。稼働率を維持しても経営は厳しく、業務の効率化を検討中。
(シャローム)5/9牧之原市主任ケアマネ連絡会。5/18原ケアマネ協会法定外研修。6/12牧之原市主任ケアマネ連絡会。6/14坂部ふれあいサロンでレクレーション。

(オリオン)5月〜6月、包括支援センター職員対象の行政主導「新任職員研修」計6回。所長はへんと、他3名の職員は必死に受講。
(ぶどうの木)5/10婦交さんによる講話。5/13長い間使ったキヤパンを返却。ありがと。6/14坂部サロンへ恵みの丘職員と一緒の啓発訪問。6/19市の新事業に対するヒアリング。婦交さんによる交通安全教室。

☆活動者名(敬称略、順不同)
個人 大塚はるみ、大石節子、大川原富美子、大場敏司、川嶋章仁、栗原尚巳、小島茂美、坂田

☆表紙の写真は、やまばと希望寮のご利用者。楽しみは、歩行訓練後、好きな広告紙を選ぶことです。
☆矢野弘典様は、公益財団法人産業雇用安定センター会長。東京芝浦区代表。日経連常務理事。明治学院大客員教授等々を歴任されました。子どもたちのために、「論語塾」を開いておられると聞き、その思いなどを書いていただきました。近著は「諫言(かんげん)を容れる」。

☆最高気温が更新される日々、残暑も長引くようですので、くれぐれもご自愛ください。(一)

寄付金状況報告

(単位:円)

	寄付金	指定寄付金	合計
4月	432,000	0	432,000
5月	419,000	0	419,000
計	851,000	0	851,000

※2022年度より、機関紙代収入は計上していません。すべて寄附金収入として、計上しています。

美智子、鈴木勝利、鈴木武行、鈴木展行、原貴昭、松田英己、三浦孝、柳本明日香、山本成敏、吉永治子。

団体 人権擁護委員会ひまわり(種福、六六コミニティー)婦人部(タオル寄贈)、さくら会(運動会行事補助)、実習生受け入れ状況(垂穂寮) 東京通信大学1名

あとがき 4月16日〜5月22日

☆表紙の写真は、やまばと希望寮のご利用者。楽しみは、歩行訓練後、好きな広告紙を選ぶことです。

☆矢野弘典様は、公益財団法人産業雇用安定センター会長。東京芝浦区代表。日経連常務理事。明治学院大客員教授等々を歴任されました。子どもたちのために、「論語塾」を開いておられると聞き、その思いなどを書いていただきました。近著は「諫言(かんげん)を容れる」。

☆最高気温が更新される日々、残暑も長引くようですので、くれぐれもご自愛ください。(一)